

第1回事業評価監視委員会資料の訂正について

- 令和5年12月改定「費用便益分析マニュアル」より、参考値として社会的割引率2%と1%を算出。
- 国道11号川之江三島バイパス及び小松バイパスにおいて、計算過程での誤りが確認された。
- 再計算を行い、小松バイパスにおいて費用便益分析値を訂正。

【再評価】 国道11号 小松バイパス 資料-4-2-1(P10)の正誤表

○訂正前

6. 事業の投資効果

<費用便益比>

項目	事業全体	残事業
費用 (C)	285億円	79億円
事業費	256億円	57億円
維持管理費	30億円	23億円
便益 (B)	335億円	294億円
走行時間短縮便益	311億円	276億円
走行経費減少便益	19億円	15億円
交通事故減少便益	4.9億円	3.6億円
費用便益比 (B/C)	1.2 (1.5[2%]) 1.7[1%]	3.7 (4.9[2%]) 5.5[1%]

1.7%[1%]

注) 費用及び便益額の値は基準年における現在価値(令和6年度)を表す。(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)
〔 〕内は、費用便益比は比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率を表す。
四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

<前回評価時からの事業計画の変化>

	今回評価 (令和6年度)		前回評価 (令和元年度)		備 考 (前回評価時からの主な変更点等)
事業諸元	延長 7.5km				
計画交通量	12,900~20,800台/日		14,400~22,500台/日		-ODの変更による交通量の変更
全体事業費	203億円		183億円		-物価上昇による事業費の増加
費用便益比	事業全体	残事業	事業全体	残事業	-費用 (C)は基準年度及び事業期間の変更 -便益 (B)は基準年度の変更と原単位の更新
総費用 (C)	285億円	79億円	241億円	87億円	
便益 (B)	335億円	294億円	359億円	278億円	
費用便益比 (B/C)	1.2	3.7	1.5	3.2	

○訂正後 ※赤枠部分

6. 事業の投資効果

<費用便益比>

項目	事業全体	残事業
費用 (C)	285億円	79億円
事業費	256億円	57億円
維持管理費	30億円	23億円
便益 (B)	335億円	294億円
走行時間短縮便益	311億円	276億円
走行経費減少便益	19億円	15億円
交通事故減少便益	4.9億円	3.6億円
費用便益比 (B/C)	1.2 (1.5[2%]) 1.8[1%]	3.7 (4.9[2%]) 5.5[1%]

1.8%[1%]

注) 費用及び便益額の値は基準年における現在価値(令和6年度)を表す。(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)
〔 〕内は、費用便益比は比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率を表す。
四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

<前回評価時からの事業計画の変化>

	今回評価 (令和6年度)		前回評価 (令和元年度)		備 考 (前回評価時からの主な変更点等)
事業諸元	延長 7.5km				
計画交通量	12,900~20,800台/日		14,400~22,500台/日		-ODの変更による交通量の変更
全体事業費	203億円		183億円		-物価上昇による事業費の増加
費用便益比	事業全体	残事業	事業全体	残事業	-費用 (C)は基準年度及び事業期間の変更 -便益 (B)は基準年度の変更と原単位の更新
総費用 (C)	285億円	79億円	241億円	87億円	
便益 (B)	335億円	294億円	359億円	278億円	
費用便益比 (B/C)	1.2	3.7	1.5	3.2	